

ライティング・マラソンの詳細が決まりました！

毎月お伝えしているレター・ライティング・マラソン2012ですが、検討に検討を重ねた結果、ようやく詳細が決まりましたのでお知らせします！今年度のライティング・マラソンでは、12件のケースを扱うことになりました。ケースの選定にあたっては、各支部のアドバイスを踏まえて基準を設定し、私たちの活動を最も生かせるように配慮しました。そのため地域ごとの件数などには偏りがあります。対象となるケースは以下の通りです。

〔アフリカ地域〕

1. ナイジェリア：パイプライン故障による石油流出が深刻なボド地域周辺の住民
2. スーダン：当局によって弾圧を受けている非暴力抵抗運動グループ、ギリフィナ

〔南北アメリカ地域〕

3. 米国：グアンタナモ収容所で拘束が続くアドナン・ファーハン・アブドゥル・ラティフさんとハッセン・サレム・モハンマド・アルマーフェディさん
4. グアテマラ：強かん後、殺害されたマリア・イザベル・フランコさん

〔アジア地域〕

5. 台湾：死刑囚の邱和順（チョウ・ホシュン）さん
6. 中国：行方不明となっている人権弁護士の高智晟（ガオ・チーシェン）さん
7. ビルマ（ミャンマー）：憲法制定の反対運動をした罪で拷問を受け服役中のクンコウリオさん

〔ヨーロッパ地域〕

8. ルーマニア：不当な強制立ち退きの結果、劣悪な環境に置かれるコアスティ通りのロマの人びと
9. ベラルーシ：不当に拘束されている人権活動家のアレクサンドル・ピアラツスキーさん

〔中東・北アフリカ地域〕

10. リビア：タワルガから強制退去させられた人びと
11. エジプト：軍の暴行に対する正義の裁きを求める活動家アザ・ヒラル・アーマド・スーレイマンさん
12. イラン：服役中の平和活動家ナルジェス・モハンマディさん



ています！

今後はこのケースリストから、それぞれの支部で注力するケースを適宜選定し、活発な運動を展開していきます。また今年からは、寄付集めに関する各支部へのサポートも行なう予定です。今年もたくさんの皆さんの参加をお待ちし

ムン・ミョンジンさんが仮釈放されました！

2011年3月に反戦の立場から兵役を拒否し18ヶ月の刑を受けていた韓国のムン・ミョンジンさんが、6月29日に仮釈放されました。



彼は韓国のNGO「戦争のない世界」のメンバーであり、2009年には英国のWRI（「戦争抵抗者」という名の国際組織）でもボランティアとして活動していました。以下、ミョンジンさんからの手紙を紹介します。

アムネスティ会員の方々から、多くの手紙を頂きました。私を個人的にご存じないのに「あなたを応援しています。あなたの釈放のためにできるだけことをやります」などというメッセージをいただき、とても勇気づけられました。

一方で、同じように「良心的兵役拒否」を行い、未だ釈放されずにいる友人たちのことを思うと心が痛みます。良心的兵役拒否が権利として認められる日が来ることを願っています。

アムネスティでは引き続き韓国政府に、良心的兵役拒否者のために兵役の代替案を準備するよう働きかけていきます。また、同じように兵役拒否を行ったために有罪判決を受けているバエク・ジョンケオンさんのケースについてもどうぞご確認ください。

緊急行動 ～その後の状況～

〔バーレーン〕

著名な人権活動家のナベール・ラジャブさんが、6月27日に釈放されました。彼は、内務省による苦情申し立てにもとづく取り調べのために6月6日から拘束され、14日には国家機関を侮辱した罪で告訴されました。今年7月5日、9日、9月26日に出廷するよう求められています。

彼はこのほかにも、表現の自由を求める平和的な活動に関連して、7月5日、9日、9月26日にも裁判へ召喚されています。引き続き、本ケースにご注目ください。

〔バーレーン〕

人権活動家のザイナブ・アルハワジさんとマスマ・サイヤド・シャラフさんが5月29日に釈放されました。しかし二人とも起訴がすべて取り下げられたわけではなく、それぞれ、6月24日と同13日に出廷しなければなりません。

ザイナブさんは、今年4月21日、人権活動家の父親の逮捕やバーレーンの全般的な人権状況に抗議してフィナンシャル・ハーバーの近くの幹線道路に座り込みをしたために逮捕されました。またマスマさんは、4月の「非合法集会」に参加し、3人の女性警官に暴行したという容疑で起訴されました。

〔カンボジア〕

プノンペンにあるブオンコク湖地域出身の人権活動家13人が、6月27日に釈放されました。13人は、強制立ち退きで自宅を壊された地元の18家族を支援し平和的に抗議行動を行っていた最中の5月22日に逮捕されていました。

カンボジアの控訴裁判所は2年半の懲役刑を中断しましたが、有罪判決の取り消しはありませんでした。警察は、裁判所の外でまっていたほかのメンバーに危害を加えたため、数名の怪我人が出た模様です。

〔アメリカ〕

オハイオ州知事は、6月6日に死刑を執行される予定だったレバノン国籍の男性アブドウル・アウカルさんに、2週間の執行の延期を認めました。アウカルさんは、1992年に妻とその兄弟を殺害した容疑で、精神病を患っているこ

とが分かっているにもかかわらず、死刑判決を受けていました。専門家が精神病だという診断を下し、複数の判事がアウカルさんは刑罰の理由と現実を理解できない証拠を受け入れました。裁判所は、今回の一時的な猶予によって、この男性に対する死刑の妥当性を調査することが可能となりました。

ロナク・サファザデさんが釈放されました！



イランに住むクルド人のロナク・サファザデさんが、今年5月10日に釈放されました。ロナクさんは今後5年間も執行猶予期間が続くため、この間に当局に逮捕・拘束された場合、また刑務所に逆戻りさせられ刑期を終えなければなりません。

ロナクさんは、2つの非政府組織（「男女平等運動」「サナダジのNGOアザルメフル」）のメンバーであり、アムネスティは、ロナクさんの投獄はこの活動がきっかけとなったと考えています。

アムネスティは6月8日にロナクさんの母親シャナズさんと連絡をとり、ロナクさんの釈放を確認しました。シャナズさんによれば、ロナクさんはとても元気でサナダジの大学で翻訳の勉強を続けているとのことでした。シャナズさんはロナクさんの釈放に尽力したアムネスティに、何度も感謝の意を表していました。

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本